

# 第 57 期 報 告 書

2025年3月1日 ▶ 2026年2月28日



# 株主のみなさまへ



取締役社長  
野口 重明

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第57期(2025年3月1日から2026年2月28日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概要についてご報告申し上げます。

## 1. 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、米国の通商政策の動向や不安定な為替相場等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と生産性の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益(売上高および営業収入)は592億40百万円(前年度比1.0%増)、経常利益は22億71百万円(同5.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億50百万円(同14.5%減)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

### ■ 小売事業

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のさらなる強化と地産地消などの特色ある品揃えに注力するとともに、時間帯別の品揃えの充実により販売力の強化にも取り組んでまいりました。また、原材料価格の高騰による相次ぐ値上げへの対応と

して、「超得」によるEDLP(低価格戦略)の充実に取り組むほか、販促の強化として「割引の日」を導入し、カテゴリーや単品の割引訴求により、集客力の向上とさらなる売上の獲得に取り組んでまいりました。さらに、当社において9月に和気店(岡山県和気郡)、アリオ倉敷店(岡山県倉敷市)および11月に大安寺店(岡山市北区)をそれぞれ改装し、既存店の活性化にも努めてまいりました。加えて、4月に岡山県備前市および兵庫県赤穂市に店舗展開している株式会社ヒナセショッピングセンターを子会社化し、8月には塩屋店(兵庫県赤穂市)および日生店(岡山県備前市)を改装いたしました。また、塩屋店で展開する「移動スーパーとくし丸」も当社グループとして稼働し、新たな商圈を開拓いたしました。そのほか、地元の高校・大学と連携し地元食材を使用した商品開発や販売、自治体や学校法人との包括協定締結などにより地域・社会貢献にも取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の売上高は481億95百万円(前年度比0.8%増)となりました。

### ■ 小売周辺事業

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売および飲食事業が主なものであり、原材料価格高騰の影響を受け、厳しい経営環境が続くなか、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。また株式会社でりかエッセンにおいて9月にアリオ倉敷店に「おめで鯛焼き本舗」を、11月に大安寺店に「できたておむすび米米(べいべい)」をそれぞれ開業し、グループシナジーの創出に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の売上高は78億21百万円(前年度比3.2%増)となりました。

### 2. 対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、所得環境の改善を背景に景気は回復基調で推移すると期待されるものの、中東情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や米国の政権の政策の影響に加え、継続的な物価上昇に伴う個人消費の停滞が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き販売力の強化と生産性の向上に努め、経営基盤の強化と持続的な企業価値の向上に

注力してまいります。

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のブラッシュアップと地産地消などの特色ある品揃えを行い、高付加価値商品のセブンプレミアムに加えて、新販促「値下げ宣言」によるEDLP(低価格戦略)の強化やオール日本スーパーマーケット協会のプライベートブランド「くらし良好」など、低価格帯商品の拡販に努めてまいります。また、セルフレジや電子棚札などのデジタル技術を充実することで生産性の向上を図るとともに、配送トラックの積載効率の向上など物流問題への対策を行い、業務の効率化とコスト削減に努めてまいります。さらに地元の自治体や学校法人との包括協定により地域・社会貢献に意欲的に取り組んでまいります。また、今秋グランドオープン予定の「天満屋ハピーズ

西大寺モール」(岡山市東区)の完成に先駆けて、2026年3月に中核となるスーパーマーケット「天満屋ハピーズ西大寺店」をオープンいたしました。今後オープン予定の多彩なテナントとの複合展開により、地域の交流の場として機能を高め、モール全体のシナジー効果を追求するとともに地域の活性化にも努めてまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を徹底するとともに、多様なニーズに対応するために商品開発力の強化、生産性の向上およびQSC(商品の品質、サービス、清潔さ)の強化にも努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年5月

## Topics

### 「天満屋ハピーズ西大寺店」オープン

1980年に天満屋ハピータウン西大寺店として開業し、総合スーパーとして地域のみなさまにご愛顧いただきましたが、変化するお客様のライフスタイルやニーズに対応すべく、当社初となるモール形式の「天満屋ハピーズ西大寺モール」(岡山市東区)へと生まれ変わります。今秋予定しているグランドオープンに先駆けて、2026年3月5日に中核となるスーパーマーケット天満屋ハピーズ西大寺店をオープンいたしました。

岡山県産の干屋牛やきよもち豚のほか、牛窓産の鮮魚や野菜など地元のこだわり商品の取り扱いを強化し、定期的に野菜や地魚の朝市を開催いたします。また、惣菜コーナーでは肉バルセットや岡山県備前市のご当地グルメとして人気の牡蠣入りお好み焼きなどの商品に加え、重慶飯店監修の中華惣菜も新規導入いたしました。

店内は木のぬくもりを感じさせるデザインを取り入れ、食材を見やすく買い回りしやすいように通路幅を広げました。

今後も地元商品やこだわり商品の販売を通じて、地域に溶け込んだ新しい食文化の発信基地となるスーパーマーケットを目指してまいります。



# 連結業績ハイライト

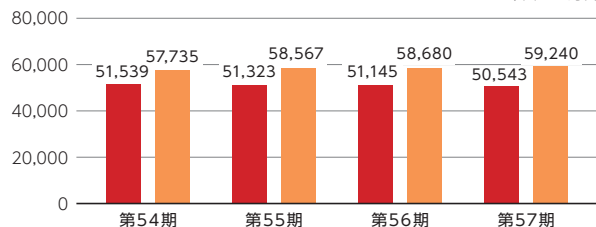
## 事業セグメントの売上高

(単位:百万円)

事業セグメントの名称		2024年度		2025年度 (当連結会計年度)		前年度比 増減額 (△は減)	前年度比 増減率 (△は減)
		金額	構成比	金額	構成比		
小売事業	食料品	44,446	80.2%	45,080	80.5%	633	1.4%
	生活用品	918	1.7%	844	1.5%	△74	△8.1%
	衣料品	2,371	4.3%	2,193	3.9%	△177	△7.5%
	その他	88	0.1%	76	0.1%	△11	△13.3%
	小計	47,825	86.3%	48,195	86.0%	369	0.8%
小売周辺事業		7,582	13.7%	7,821	14.0%	238	3.2%
合計		55,407	100.0%	56,016	100.0%	608	1.1%

## 営業収益(売上高および営業収入)

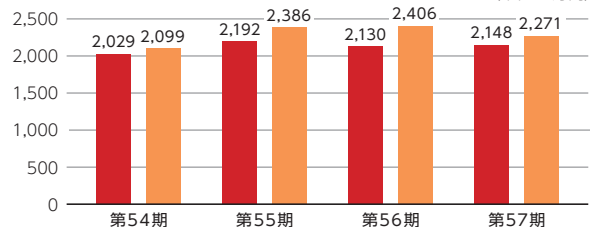
(単位:百万円)



## 経常利益

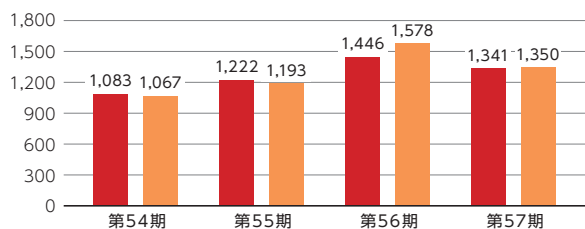
■単体 ■連結

(単位:百万円)



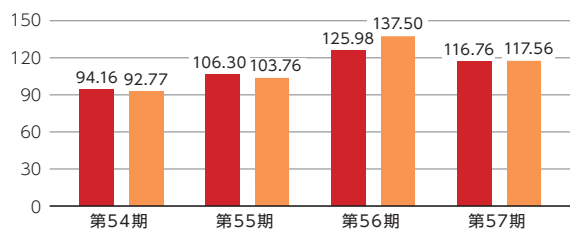
## 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注)連結は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します。

# 連結財務諸表(要約)

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2025年2月28日現在	2026年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,620,630	5,831,437
固定資産	36,429,412	39,674,812
有形固定資産	26,626,415	29,760,816
無形固定資産	2,964,371	3,037,260
投資その他の資産	6,838,625	6,876,735
<b>資産合計</b>	<b>42,050,043</b>	<b>45,506,250</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,748,686	12,833,481
固定負債	3,962,462	4,922,397
<b>負債合計</b>	<b>15,711,149</b>	<b>17,755,878</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,244,617	27,440,061
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	17,277,250	18,466,163
自己株式	△77,883	△71,352
その他の包括利益累計額	55,567	270,934
その他有価証券評価差額金	125,459	334,931
退職給付に係る調整累計額	△69,891	△63,996
非支配株主持分	38,708	39,374
<b>純資産合計</b>	<b>26,338,893</b>	<b>27,750,371</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>42,050,043</b>	<b>45,506,250</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2024年3月1日から 2025年2月28日まで	2025年3月1日から 2026年2月28日まで
売上高	55,407,788	56,016,467
売上原価	39,677,761	40,249,102
<b>売上総利益</b>	<b>15,730,027</b>	<b>15,767,365</b>
営業収入	3,272,259	3,223,754
<b>営業総利益</b>	<b>19,002,286</b>	<b>18,991,120</b>
販売費及び一般管理費	16,718,440	16,806,077
<b>営業利益</b>	<b>2,283,846</b>	<b>2,185,042</b>
営業外収益	169,122	158,378
営業外費用	46,001	72,416
<b>経常利益</b>	<b>2,406,966</b>	<b>2,271,004</b>
特別利益	80,447	10,536
特別損失	219,994	375,474
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,267,420</b>	<b>1,906,067</b>
法人税、住民税及び事業税	600,693	506,167
法人税等調整額	83,390	46,220
<b>当期純利益</b>	<b>1,583,335</b>	<b>1,353,679</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	4,367	3,066
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,578,968</b>	<b>1,350,612</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2024年3月1日から 2025年2月28日まで	2025年3月1日から 2026年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,960,727	2,951,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△834,585	△2,688,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,262,666	△252,927
現金及び現金同等物の増減額	△136,524	9,750
現金及び現金同等物の期首残高	708,293	571,768
現金及び現金同等物の期末残高	571,768	581,519

# 単体財務諸表(要約)

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2025年2月28日現在	2026年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,476,597	5,762,100
固定資産	35,251,861	38,345,017
有形固定資産	25,211,929	28,121,845
無形固定資産	2,503,121	2,583,967
投資その他の資産	7,536,811	7,639,204
<b>資産合計</b>	<b>40,728,459</b>	<b>44,107,118</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,323,646	13,461,172
固定負債	3,636,575	4,482,906
<b>負債合計</b>	<b>15,960,221</b>	<b>17,944,078</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	24,643,679	25,829,972
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	15,676,563	16,856,324
自己株式	△77,883	△71,352
評価・換算差額等	124,557	333,066
その他有価証券評価差額金	124,557	333,066
<b>純資産合計</b>	<b>24,768,237</b>	<b>26,163,039</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,728,459</b>	<b>44,107,118</b>

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2024年3月1日から 2025年2月28日まで	2025年3月1日から 2026年2月28日まで
売上高	47,828,213	47,248,435
売上原価	35,784,290	35,369,996
<b>売上総利益</b>	<b>12,043,923</b>	<b>11,878,438</b>
営業収入	3,317,188	3,295,456
<b>営業総利益</b>	<b>15,361,112</b>	<b>15,173,894</b>
販売費及び一般管理費	13,436,442	13,212,671
<b>営業利益</b>	<b>1,924,669</b>	<b>1,961,222</b>
営業外収益	253,390	248,106
営業外費用	47,369	60,995
<b>経常利益</b>	<b>2,130,691</b>	<b>2,148,333</b>
特別利益	80,367	10,536
特別損失	214,537	353,117
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,996,521</b>	<b>1,805,752</b>
法人税、住民税及び事業税	474,397	425,296
法人税等調整額	75,397	38,995
<b>当期純利益</b>	<b>1,446,727</b>	<b>1,341,461</b>

# 会社概要 / 役員 / 株式の状況

## 会社概要

2026年2月28日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086)232-7265
店舗数	46店
従業員数	1,414名(うちパートタイマー等1,035名)

## 役員

2026年5月26日現在

代表取締役社長	野口重明
常務取締役	森眞吾
取締役	國府慎一郎
取締役	武本俊夫
取締役	山本愛子
取締役	柴田太
取締役	守分孝治
取締役	小野由里子
常勤監査役	大内晃治
監査役	井手敬一郎
監査役	柳井孝之

取締役武本俊夫、山本愛子、柴田太、守分孝治、小野由里子の5氏は、社外取締役であります。監査役井手敬一郎、柳井孝之の両氏は、社外監査役であります。  
取締役武本俊夫、山本愛子の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき、当社が同取引所に届け出た独立役員であります。

## 株式の状況

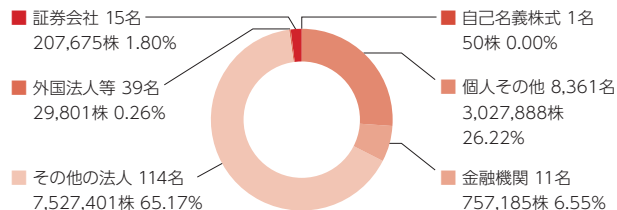
2026年2月28日現在

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,550,000株
株主数	8,541名

### 大株主の状況

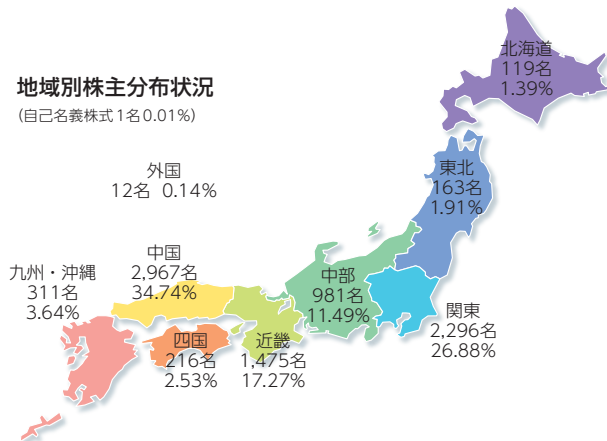
株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000株	23.95%
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	964,800	8.35
株式会社中国銀行	376,800	3.26
天満屋ストア共和会	364,300	3.15
三菱食品株式会社	175,700	1.52
大和証券株式会社	172,200	1.49
株式会社百十四銀行	119,800	1.04
株式会社三井住友銀行	91,900	0.80

### 所有者別株式分布状況



### 地域別株主分布状況

(自己名義株式1名0.01%)



# 株式の状況等

## 株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 5月  
基準日 定時株主総会 2月末日  
期末配当金 2月末日  
中間配当金 8月31日

■ そのほか必要あるときは、あらかじめ  
公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先  
電話照会先

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031  
受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

インターネット  
ホームページURL  
よくあるご質問(FAQ)

[https://www.smtb.jp/  
personal/procedure/agency](https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency)  
[https://faq-agency.smtb.jp/  
?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

公告方法 電子公告とし、インターネット上の当社  
ウェブサイトに掲載いたします。  
<https://www.tenmaya-store.co.jp>

■ ただし、事故その他やむを得ない事由に  
よって電子公告による公告ができない  
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

### ■ 株式に関する住所変更等の届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社  
ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記の電話照会先まで  
ご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よく  
あるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用され  
ていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信  
託銀行株式会社にて口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。  
特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、左記  
の電話照会先をお願いいたします。

## 株主ご優待制度

毎年8月31日および2月末日の100株以上ご所有の株主様に対し、「天満屋ギフトカード」もしくは「VJAギフトカード」を、  
次のとおり年2回贈呈いたします。

### 1回当たりの贈呈基準

ご所有株式数	天満屋ギフトカード	VJAギフトカード
100株～ 499株	1,000円分	1,000円分
500株～ 999株	2,000円分	
1,000株～ 1,999株	3,000円分	3,000円分
2,000株～ 2,999株	4,000円分	
3,000株～ 3,999株	5,000円分	
4,000株～ 4,999株	7,000円分	
5,000株以上	10,000円分	



天満屋ギフトカード



VJAギフトカード

使用方法などの詳しい内容は、  
当社ウェブサイトをご覧ください。

[https://www.tenmaya-store.co.jp/  
company/ir/](https://www.tenmaya-store.co.jp/company/ir/)

